

板柳町八幡宮のイチョウの保護・保全事業実施報告書です。

名木の所在地	青森県北津軽郡板柳町大字常海橋字駒田242番地(常海橋八幡宮 境内)
名木の名称	八幡宮イチョウ 推定樹齢 400年
名木の所有者	常海橋八幡宮 館岡正美
治療年月日	平成28年9月20日
樹木医による 名木の診断内容	境内のイチョウは、地域のシンボルツリーで地元住民の敬愛の巨木であるが、数年前から弱ってきており、特に、東方の太枝が枯損し、さらに樹幹上部には枯れ枝が目立っている。 その原因としては、根元の土壌固結が著しいことが衰弱の原因となっている。 また、境内にまかれた除草剤によって間接的に土壌の有機質の欠乏と分解生物の減少に繋がっている。
実施した治療内容	固結した土壌の団粒化を促進させる土壌改良工 土壌の有機質性を高める改良工 根元に新たな根の発生を促す発根促進工
今後の名木に 対する留意事項	経過観察する。



板柳町大字常海橋
八幡宮のイチョウの木です。
樹木治療の完成



固結した表土の掘削



土壤改良工

土壤の有機質性を高めるため及び
団粒化を促進させるための改良工